

【刊夕】日五十月二十



五五稅郵錢十五月一 錢貳金部一... 錢十五行一語字三十號五 料告廣... 治文崎川 入刷印人輯編發... 五三町橋長町平郡城石縣島福... 番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發... 社會式株刷印日每警常 所刷印

### 年は逝く

平町 佐藤 宙二

「井戸の蛙」の俺も遂に關  
伽井岳の見えない所へ来て  
しまつた、お、懐かしい思  
ひ出の数々山がすつかり  
曇に掩はれる日、山頂をわ  
づかに現はしてゐる日、或  
ひは一天雲なく晴れ渡つた  
日、或ひは雪の日の繪のご  
とき風景、二十二年の長い  
月日をおの懐かしい偉大な  
精に恵まれて来た俺は、誰  
に離れるよりも淋しかつた  
友に、人に、出京の挨拶を  
したとて何らセンチメンタ  
ルにならなかつた俺も、あ  
の山の懐かしい姿を全然見  
られなくなるおれだと思ふ  
と、又別な眼で別な氣持で  
見上げたのであつた、それ  
は、青藍色の山衣を紅葉で  
飾る秋にあつた幾日もなかつ  
た日...

し日の事どもを忘れ去るこ  
とが出来ようか、  
思ひ返せば、兄に勤められ  
て平町へ徒弟奉公に来てか  
ら歳は去り歳は来りて幾度  
か正月を迎へたのだらう、  
そうしてゐる間に赤井の實  
家では細々ながら生活の煙  
りを立て、案じるほどの事  
もなかつた、けれども俺は  
姉を亡くしてゐる、この悲  
しむべき報を受けた時、俺  
は悲しい運命の一つに打ち  
のめされた様に思つた、仕  
事をしてゐながらも沈んで  
くる自分の心に鞭打つては  
自ら慰めてゐたのだが、父  
を想ひ母を想うて姉や兄の  
悲しみを思うと、亡くなつ  
た姉をさへ何とはなしに恨  
めしいやうな氣になつたの  
だ...

今にして思ひば三歳の夢、  
雨に曝され日光に育しまれ  
て伸びゆく筈の様に俺も漸  
やく廿一歳の春を迎へるの  
です、そしておれの兄が迎  
つた道を、より巾廣く、よ  
り勇敢に突進すべく平町を  
去るのです、  
朝に夕べに聞くサイレンの  
響き城山の鐘、それから  
慈しみ深くこれまで導いて  
くれた主人の家... 總てに

### 可笑不可笑

受験勉強生

イマ、警中に面白い同盟が  
出来ました、  
可笑同盟「不可笑同盟」が  
これです、その由来を皆さ  
んに御紹介します、ブル先  
生は五年生の〇〇の時間に  
必ず最初の五分間位を坐禪  
のために使用します、それ  
まではいゝのですが扱てそ  
れからが誰にも分らない授  
業を一人で續けてゆくので  
す、誰か生徒に笑ふ者があ  
ると「心掛けが悪いからだ」  
と大目玉、そこで私たちが  
之に對抗してやります、曰  
くみんな一緒に爆笑するこ  
と、そしてみんな一緒に叱  
られると、これが「可笑同  
盟」です、次ぎは有名なネ  
コ先生、これが教科書にも  
ないつまらぬ事を身振りよ  
ろしく手真似足真似でやら  
かす様はさながら落語式、

寄席にでも出す代物です、  
でも先生大まじめで生徒の  
御氣嫌をとつてる積りなん  
です、そこで優等生が發起  
者になつて、ネコの時間に  
はどんな面白いことを言つ  
ても絶対に笑はないことに  
しました、笑ひたくなつた  
生徒に舌を噛んでゐるとで  
す、デ、ネコ先生この頃は  
すつかりアテがはづれて  
「たまには笑つてくれよ」  
これが「不可笑同盟」です、

### 電話開設

六二五番

右開設致しましたから何卒御利用下  
さい

辯護士 増田梅藏  
平町才穂小路一番地

### 学生外套特賣

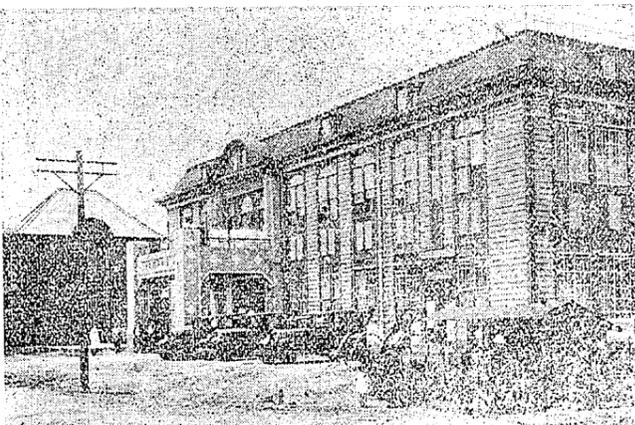
酷寒。強雨。耐生地  
型仕立 100パーセントの  
黒、外套 特價提供  
中學用(極上)8,500錢  
小學用(同)5,500錢  
全部頭巾付

平二 電 203  
な か や 洋服店

皆様のスピードの御用命は  
電三四三番へ  
使用車は三〇年式  
セダン型です  
何卒御用命を願ひます  
平驛前 昭和タクシー

### 磐城共済病院案内

本病院は時局に鑑み八月一日より入院料並  
に往診料左の通低減致候間御参考迄申上候  
入院料 一日(本會員) 金貳圓也  
金壹圓五拾錢  
往診料 院長及其他の(本會員) 金參圓也  
博士に限り(本會員) 金貳圓也  
尚地方往診も之に應じ低減致候間此段申添候  
(平町内)



- (各科専門) 醫擔當  
内科 小兒科  
外科 皮膚泌尿科 整形外科 内臓外科  
産婦人科 女子泌尿科  
耳鼻咽喉科  
X光線科  
物理學的診療科

院長 醫學博士 難波 睦  
本院主 管 賀澤 忠治

一、衛生試驗所  
一、救氣相談所  
一、治療所  
共済病院内

昭和五年九月

### 磐城共済會

平町 電話六四一番

看護婦募集

# 平水道工事

## 順調に進む

### 使用労働者も

#### 漸次多くなる

##### 總て豫定通りに

平町上水道工事は漸次工事区域の擴大と共に使用労働者も多くなり労働登録者全部にわたり年内に

仕事は まはるやう職

業紹介所と擴張部と連絡をとり昨今の従業人夫は六十人ばかりで第一区の方は十二日より鐵管の布設工事を始め鐵管の輸送も順調にい

つてゐるので取水口の工事も 近く着手するも豫定で冬期渇水期中に完了せしむる意氣込みである

第二工區の方面も各移轉の建物工事も数日中に竣工せしむべく全力を沈澱池瀘過池掘鑿工事にむけるやうになるので豫定通り進捗を見

# ラヂオの

## 頼母子が

### 各地に流行

家庭の必需品の一つとしてラヂオが数へられる時代となつてゐる、しかし石城地方は仙臺から遠い爲め安價簡便な礦石式受信機では聴けない、盆正月でもなければ村芝居も

浪花節も かつらないといふやうな都會を遠く離れた農村としては、娯樂と

して又實益として一層無くてはならないものであるが債空管式となるとなかく高い殊に米が圓に五升といふやうな米價暴落の昨今何を求めることがなか／＼容易なことではない、そこで何所で

誰が始め たものか判らんが最近郡部では比較的樂に高價なセットを得る方法としてラヂオ頼母子講なるものが流行し出した、た

とへばラヂオ一切の經費を六拾圓として、拾二人一組月五圓掛の一ヶ年満了の規約で抽籤により毎月一人づつラヂオを仕掛るといふのである、左表は

品名	価格
三球式受信機	五、〇〇
擴聯ラツパ	五、〇〇
A 蓄電池	七、〇〇
B 蓄電池	一〇、〇〇
C 乾電池	一五、〇〇
眞空管三個	三、〇〇
充電器	一三、〇〇
(トランス入タンガ)	一七、〇〇
アンテナ設備	五、〇〇
計	五、五〇
	八、五〇
	三、五〇

へ平署の取調を受けてゐる

杵壽司の 煮込でんと 御料理で 是非一杯召上れ (鮎の種は常に色々) (取揃へてあります) 電 六七九番 出前迅速

# 平署長異動

平警察署署長荒井市太郎氏は本日依願退職し、後任は原町署長櫻村慶氏と決定

# 鈴木幹事長祝賀

## 併せて縣議慰勞會

### 石城政友部會主催

石城政友部會にては縣會議員鈴木辰三郎氏が縣支部の幹事長に就任した祝賀と共に山崎、古川兩縣議の慰勞會を兼ね廿五日午後二時から谷口樓に於て盛大な宴を張ると

### 畜牛成績良し

では去月廿四日から今月十日まで畜生九十五頭の結核検査を執行した罹病なく成績は實に百パーセントである

# 國産愛用

## 湯本で開く

縣では去る八月十五日より一週間第一回の國産愛用週間を施行好成绩をあげたが縣はこの歳末に際し一段とこれに力をそゞぐべく来る十五日から二十一日まで一週間を第二回國産愛用週間とし普及宣傳に力をそゞぐ

# 預金二割減

## 昨日の現在

平郵便局本年度の預金高は一月より十二月(十四日現在)に至る迄百七十三萬六千五百二十錢で昨年同期

# 男女青年

## 雄辯大會

### 來月五日

石城郡神谷村黎明會にては一月五日午後一時から聚樂

# 殺して仕舞ふと

## 女房を散々亂打

### 全治三週間の重傷を負はす

#### 飲酒泥酔の揚句に

石城郡磐崎村上湯長谷居住の妻若木さく(三)と口論の揚句を殺してしまふと傍らにあつたバケツを振り上げ同人の頭部腰部を散々に



# 年賀用

はキガハと刺名御

へ番〇三六話電

社會式株刷印日每警常

# 三井の券品商

店服吳井三

# 毛糸

ハシモトヤ

優等百合印毛糸 高級霜降毛糸  
優等中細毛糸 優等極細毛糸  
スコッチ毛糸 英國製毛糸

平町町 **ハシモトヤ糸店**

### 新年文藝懸賞募集

初春の紙を飾る  
宛名 〓 〓 本社文藝部  
締切 〓 〓 十二月廿日  
用紙 〓 〓 官製はがき

- 和歌 『山羊』 一人各三首限 高久晚霞氏選
  - 俳句 『春着』 一人各三句限 渡邊何鳴氏選
  - 童謡 『正月』 二人各一篇 川崎小鳥氏選
  - 詩 隨意 二人各一篇 片寄耿二氏選
  - 短歌 『光』 一人各五首限 白木英尾氏選
- 投書には『新年文藝』と種目とを必ず明記すること  
● 入賞者を一名 二名 三名に分ち各賞品を呈す

## 平役場のボーナス 去年と同額

### 吏員はホク／＼で 暮の買物に景氣な顔

平町役場ではいつも二十日過ぎにはボーナスが交付されるが、恐らく縣下町村中最も待遇のよい町で、毎年十一割強にあつてゐる。書記、傭人は一年分の給料の一分といふことになつてゐる。役は三百圓位である、不景氣といつても既に町會で例年通り豫算に計上してゐるから去年と同じにはも

市場開設を企劃 認可申請中であつたが十三日より平署に對し市場を開設すべき位置に於ける交通上の關係及び衛生方面その他の諸設備の調査方を通牒し來つたが大體に於いて同市場は認可されるものと見られてゐる

## 体操の時間中に 片ツ端から盗む

### 警中の四年生 学校當局狼狽

平町警城中學四年生渡邊武(七)假名は十三日午後四時ごろ五年甲組生徒が体操のため上衣を全部教室に脱いで置いたのを 奇貨として教室に忍び込み片ツ端からポケットに入れてあつた現金を抜き取つて逃走せんとした所を一教員が発見し同人を教室に連れ戻し取調べた所懐中に現金十五圓餘を所持してゐたので急遽職員會議を開き同人の處分

## 機關車脱線 平驛へ運着

常磐線高萩驛下り本線で十三日午後四時ごろ入替中の機關車が脱線のため平驛午後六時十五分着旅客列車は五十分の遅發を見た

## 失業苦の悩みに 精神病者が續發

### 平署管内は昨年より 二倍の多數を示す

平署の調査による十二月現在管下の精神病者は百名に上りこれを昨年十一月末日の五十三名に比較すると二倍の多數を示してゐる。これが原因は最近の不景氣により炭礦や工場等を解職された者が適當な就職口なきため生活に窮し思ひあまた結果と見られてゐる。表以外にもつと病者は多き見込でしや會政策の上より見るも由々しき問題なりとして憂慮されてゐる

## 組頭會議 十八日平署で

平外三町十七ヶ村消防組頭會議は十八日午前十時から平署會議室において開催。消防組員の建碑の件外數件を附議する筈

## 中谷判事赴任 福島

地方裁判所に榮轉した平支

明日の天気  
北西の風天気よ  
き見込み

- 前七、〇〇 ラデオ体操
- 前九、〇〇 氣しよう通報
- 前九、〇〇 料理献立一ク
- リスマス料理魚の煮凍り
- 前二、〇〇 家庭講座
- 「押繪の話」海老原善人
- 正午 時報
- 後〇、〇五 浪花節「橘英
- 男」東家左樂燕
- 後〇、〇四 ニューズ
- 後二、〇〇 家庭講座一萬

## 無免許運轉 平署で取調

平町才穂小路菊地自動車部佐藤松太郎(九)は拾四日無免許にて自動車運轉し目下平署にて取調中

## 男女を混浴 湯屋告發さる

石城郡磐崎村白鳥温泉永山ヨテ(三)は十四日五名の男女を混浴せしめ平署に告發さる

## 平藝妓の玉代 近く値下協議

### 本町の藝妓玉代は一本(三十分)七十四錢といふ東北では仙臺、青森に次ぎ高いので最近遊客を大半カフエーなどの比較的

平町の藝妓玉代は一本(三十分)七十四錢といふ東北では仙臺、青森に次ぎ高いので最近遊客を大半カフエーなどの比較的遊興費の安い方面へ取られたので藝妓の稼ぎは非常に激減し十日間の一行の總玉數を見ると九十五人の本玉で僅かに五千三百

## 掛賣金横領 木炭屋の雇人

平町古鍛冶町會川木炭店雇

- 重奏「トリオアルメリア 第二部獨唱 外山國彦
- 後六、三〇 ことばの講座「漢字の生ひ立ち」後藤朝太郎
- 後七、〇〇 ニューズ 宮
- 省公示事項 放送局編輯
- 後七、二五 趣味講座 星野辰男
- 吹奏樂(二曲)海軍々樂隊指揮 内藤清五
- 長唄「羽衣天人」唄 杵屋繁久 唄 杵屋たね 三味線 杵屋六繁 三味線 杵屋繁代
- 放送舞臺劇「花の咲くまで」加藤精一 一座 放送指揮 松屋桃多郎

## 米品評褒賞授與

石城郡上遠野、入遠野兩村聯合青年團主催米増收品評會は豫て立毛審査を了してゐたが去る十三日午前十時より上遠野小學校内に於いてこれが褒賞授與式を舉行郡農會より柴田技師臨席と

## 失業者同志が 交替で餓賣り

磐城各炭礦では全國的の送炭制限により急激なる採炭減を生じてこれにともなふ失業者は全山に満ち最近では五百名を突破してゐる所へ北海道方面の炭礦した業者が歳末に向ひボツ／＼流れて來てゐるが各山とも絶対非募集主義であるためこの地にも安住の地なく地元しつ業者と共に廢坑を利用して雨露を凌ぎしつ業者同志が交替に平町に出で餓賣などをやりこの寒空に廢坑の暗い中にゐるへ三度の食事を一度やつとの思ひでありつき蜘蛛の糸のそれよりも細い生命をつないでゐるあはれなしつ業者がう／＼してゐる状態である

